



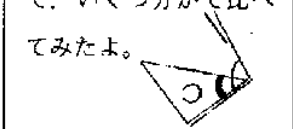
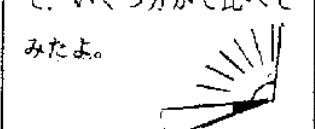
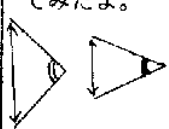
5 本時の学習指導（本時1／8）

(1) 目標

- 角の大きさの比べ方を、自分なりの方法で考えることができる。（関心・意欲・態度）

(2) 準備物 三角定規、ものさし、はさみ、アイテム（紙で作った15°の角）、ワークシート

(3) 学習指導過程

学習活動	児童の意識の流れ	教師の支援活動
<p>1 学習課題を知る。</p>	<p>鳥のひながお母さんにえさをもらおうと、口を開けています。口の開きぐあいを比べてみましょう。</p>  <p>ひなの口の角を比べましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ひなが口を開けていることに関心を向ける。 それぞれの口の開き方が違うことに気づかせる。 図形の学習を思い出させ、用語「角」を引き出す。
<p>2 どの角が一番大きいか予想する。</p>	<p>どの角が一番大きいのかな。予想してみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 任意単位での測定の方法を引き出すため、アイテムを提示する。
<p>3 自分の考えで、角の大きさを比べる。</p>	<p>実際に大きさを比べてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> できるだけたくさんの方で比較できるようにする。
<p>4 自分が考えた比べ方を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各班で発表する。 全体で発表する。 	<p>切って重ねてみたよ。</p>  <p>三角定規の角度を使って、いくつ分かで比べてみたよ。</p>  <p>アイテムの角度を使って、いくつ分かで比べてみたよ。</p>  <p>長さを比べてみたよ。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> わかりにくい児童には、切って重ねてみるよう助言する。 1つの方法が終わった子どもには、他の方法で比べてみるよう助言する。 発表に対して質問や意見が言えるようにする。
<p>5 角の大きい順に並べる。</p>	<p>口の角が大きい順に並べてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 角も長さや重さと同様だということに気づかせる。
<p>6 まとめ</p>	<p>角は、いろいろな比べ方があるのだな。重さしらべの時とよく似ているな。</p> <p>だれにでもわかる角の大きさの表し方はないだろうか。</p>	<p>評価 ひなの口の角の比べ方を、自分なりの方法で考えることができる。（ワークシート）</p>